

事業プロデュース事業による事業化支援事例

テーマ

桑抹茶の機能性表示食品「CAVA [クァヴァ]」
の事業化

(株)ダイヤ・プロフェッショナル・ジャパン

代表者 : 代表取締役 樋口 真之 様

所在地 : 富士宮市三園平1081

事業内容 : コンクリート用の型枠 リサイクルボード

設立 : 2007年

URL : <http://www.daiya-pro.co.jp/index.html>商品の
特徴

- ・富士山麓の桑畑の葉を用いた抹茶で、製品形状は棒状アルミパックに入っており、お湯や水で溶いて飲む。
- ・無農薬栽培なので、安心して摂取できる
- ・機能性表示食品であり、桑の葉由来イミノシュガー（DNJ、GAL-DNJ、ファゴミン）は食事に含まれる糖の吸収を抑えて、食後に上がる血糖値の上昇を抑える機能がある

支援の
経過

- ・荒廃茶園の活性化のため桑畑に転用し、無農薬で3年ほど育った桑の葉を抹茶にして販売を試み始めた。
- ・本事業の製品の特長や製法や今後の方向性などを調査し、機能性表示食品の可能性を検討した結果、桑茶の機能性は確認されており、同社の桑抹茶を機能性表示食品とすることが可能と判明
- ・経営革新法の承認を受け、補助金申請の手続きをサポート
- ・同社は外部機関に依頼し、機能性表示食品申請の手続きを進め、2024. 3. 2に消費者庁に機能性表示食品CAVA [クァヴァ] の届け出を行いました



安心安全な品質

無農薬栽培された富士山麓の桑畑の葉を用いた抹茶を原料として、茶工場にて細かな粉末としている



個包装でいつでも気軽にすぐ飲める機能性表示食品

製品形状は棒状アルミパックに入っており、お湯や水で溶いて飲む。機能性表示食品であり、食事に含まれる糖の吸収を抑えて、食後に上がる血糖値の上昇を抑える機能がある

※写真は旧パッケージ



クアヴァ パッケージ(機能性表示食品)



社長との打ち合わせ



ブランドマネージャーとの打ち合わせ

支援スキームと活用した支援メニュー

参加団体

- ・ 静岡県産業振興財団
- ・ フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター

活用した

支援メニュー

- ・ 事業プロデュース事業
- ・ 経営革新法の承認と補助金